

大学・高専機能強化支援事業（支援 2：高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援）
【大学 一般枠、特例枠】実施状況報告書

選定年度	令和6年度	学校コード	F120210105788	改組内容	研究科等の設置・増員（一般枠）
大学名	公立諏訪東京理科大学	設置区分	公立	事業計画名	公立諏訪東京理科大学における“情報教育”と“工学と経営学の融合教育”の強化で、DXを推進しビジネスの現場にイノベーションを起こすことができる高度情報専門人材を育成
学校種	大学	都道府県	長野		

1. 年度別の計画及び取組状況

年度別の事業計画（上欄：研究科等の設置等及びその準備（設置認可申請等）、下欄：教育環境の整備（施設整備、教員採用等）、教育活動の充実等の取組）と取組状況及び自己評価を記載してください。
当初計画から変更又は追加した取組がある場合は「取組状況」に取組を赤字で記載してください。また、計画変更申請をした場合は「取組状況」に承認日を赤字で記載してください。

計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある等、自己評価が下位2つの場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

事業期間	事業計画	取組状況	自己評価、課題（理由）とその対応	
令和6年度	【情報系組織の入学定員】<博士> 2人 <修士> 15人 <学士> 150人 大学院博士後期課程（工学・マネジメント研究科 工学・マネジメント専攻）入学定員2人 大学院修士課程（工学・マネジメント研究科 工学・マネジメント専攻）入学定員 15人 工学部情報応用工学科 入学定員150人 修士課程の入学定員を30名とする届出（学則変更） ①国際交流コーディネータ担当教員を1名採用 ②GPUサーバの導入 ③大学院自習室等の改装 ④DX実務経験者を客員招聘し講義や研究指導実施	【情報系組織の入学定員】<博士> 2人 <修士> 15人 <学士> 150人 大学院博士後期課程（工学・マネジメント研究科 工学・マネジメント専攻）入学定員2人 大学院修士課程（工学・マネジメント研究科 工学・マネジメント専攻）入学定員 15人 工学部情報応用工学科 入学定員150人 10月 修士課程の入学定員を30名とする届出（学則変更） ①国際交流コーディネータ担当教員を1名採用 ②GPUサーバの導入 ③大学院自習室等の改装 ④DX実務経験者を客員招聘し講義や研究指導実施	R6年度自己評価	【3】計画を十分に実施している。 令和6年10月に入学定員を30名とする学則変更の届出を行った。 国際交流コーディネータ1名を採用し、海外大学との提携を推進した。また、GPUサーバの導入及び大学院自習室等の改装について予定どおり実施し、教育研究環境の改善・向上を図った。DX実務経験者を複数回実施し、デジタル人材育成のための講義や研究指導を行った。
令和7年度	【情報系組織の入学定員】<博士> 2人 <修士> 30人 <学士> 150人 大学院修士課程（工学・マネジメント研究科 工学・マネジメント専攻）入学定員 30名 ①国際交流コーディネータ担当教員1名の雇用 ②DX実務経験者を客員招聘し講義や研究指導実施 ③情報系教員を3名採用 ④カリキュラムに“デジタル人材育成科目”を新設し、これらの中から一定以上の単位取得を修了要件とする ⑤新研究棟建設に関わる設計委託		R7年度自己評価	リストから選択してください。
令和8年度	【情報系組織の入学定員】<博士> 2人 <修士> 30人 <学士> 150人 ①国際交流コーディネータ担当教員1名の雇用 ②DX実務経験者を客員招聘し講義や研究指導実施 ③情報系教員3名の雇用 ④新研究棟建設工事着工（複数年契約）		R8年度自己評価	リストから選択してください。
令和9年度	【情報系組織の入学定員】<博士> 2人 <修士> 30人 <学士> 150人 ①国際交流コーディネータ担当教員1名の雇用 ②DX実務経験者を客員招聘し講義や研究指導実施 ③情報系教員3名の雇用 ④新研究棟完成（複数年契約）		R9年度自己評価	リストから選択してください。
令和10年度	【情報系組織の入学定員】<博士> 2人 <修士> 30人 <学士> 150人 ①国際交流コーディネータ担当教員1名の雇用 ②DX実務経験者を客員招聘し講義や研究指導実施 ③情報系教員3名の雇用		R10年度自己評価	リストから選択してください。
令和11年度	【情報系組織の入学定員】<博士> 2人 <修士> 30人 <学士> 150人 ①国際交流コーディネータ担当教員1名の雇用 ②DX実務経験者を客員招聘し講義や研究指導実施 ③情報系教員3名の雇用		R11年度自己評価	リストから選択してください。
令和12年度	【情報系組織の入学定員】<博士> 2人 <修士> 30人 <学士> 150人 ①国際交流コーディネータ担当教員1名の雇用 ②DX実務経験者を客員招聘し講義や研究指導実施 ③情報系教員3名の雇用		R12年度自己評価	リストから選択してください。
令和13年度	【情報系組織の入学定員】<博士> 2人 <修士> 30人 <学士> 150人 ①国際交流コーディネータ担当教員1名の雇用 ②DX実務経験者を客員招聘し講義や研究指導実施 ③情報系教員3名の雇用		R13年度自己評価	リストから選択してください。
令和14年度	【情報系組織の入学定員】<博士> 2人 <修士> 30人 <学士> 150人 ①国際交流コーディネータ担当教員1名の雇用 ②DX実務経験者を客員招聘し講義や研究指導実施 ③情報系教員3名の雇用		R14年度自己評価	リストから選択してください。
令和15年度	【情報系組織の入学定員】<博士> 2人 <修士> 30人 <学士> 150人 ①国際交流コーディネータ担当教員1名の雇用 ②DX実務経験者を客員招聘し講義や研究指導実施 ③情報系教員3名の雇用		R15年度自己評価	リストから選択してください。

フォローアップ対象年度	令和6年度	大学名	公立諏訪東京理科大学
-------------	-------	-----	------------

2.申請資格の確認

該当しない場合は、チェックしてください。

i) 学生募集停止中の大学

該当無し	☒ チェック
------	--

ii) 学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学

該当無し	☒ チェック
------	--

iii) 「私立大学等経常費補助金」において、定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額の措置を受けた大学

該当無し	☒ チェック
------	--

iv) 設置計画履行状況等調査において、「指摘事項（法令違反）」が付されている大学

該当無し	☒ チェック
------	--

v) 大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第2条第1号又は第2号のいずれかに該当する者が設置する大学

該当無し	☒ チェック
------	--

3.申請要件の取組状況

令和6年度 の取組が当初の計画通りに進んでいる、又はチェック項目に該当する場合はチェックしてください。計画通りに進んでいない、又はチェック項目に該当しない場合は右欄に課題（理由）とその対応を記載してください。

①	高等教育の修学支援新制度において、大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）に基づき、財務状況や収容定員充足率が適正であることを含めた要件を満たすことの確認を受けた大学であること。なお、学部を置かない大学や新設予定の大学で、応募時点において、高等教育の修学支援新制度における要件確認の対象に該当しないものは、本要件は適用されない。					
	<table><tr><td>確認を受けている</td><td>☒ チェック</td></tr><tr><td>対象に該当しない</td><td>☐ チェック</td></tr></table>	確認を受けている	☒ チェック	対象に該当しない	☐ チェック	
確認を受けている	☒ チェック					
対象に該当しない	☐ チェック					
②	志願者数の状況や入学定員及び収容定員充足率等を踏まえた十分な学生確保の見通しを備えた計画となっていること。					
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる	☒ チェック			
計画通りに進んでいる	☒ チェック					
③	産業界を含む社会のニーズ等を踏まえ、学修目標の具体化、体系的な教育カリキュラムの編成及び大学での学修に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜が適切に実施され、そのための体制を構築する計画となっていること。（その際、国際的な質保証の枠組みを活用するなど出口における質保証にも十分留意することが重要。）					
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる	☒ チェック			
計画通りに進んでいる	☒ チェック					
④	特定成長分野のうちデジタル分野の人材を育成するための戦略、適切な管理・教育体制や教育研究環境の整備を図る計画となっていること。					
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる	☒ チェック			
計画通りに進んでいる	☒ チェック					
⑤	計画の対象となる研究科・専攻等において、実務経験のある教員等による授業科目を配置する計画となっていること。					
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる	☒ チェック			
計画通りに進んでいる	☒ チェック					
⑥	特定成長分野のうち情報系分野に係る研究科、専攻、コース等の設置・増員（研究科、専攻の定員の増員を伴わないものを含む。）、専攻に係る課程の変更（研究科、専攻、コース等の設置・増員及び専攻に係る課程の変更に伴う学部、学科、コース等の設置・増員（学部、学科の定員の増員を伴わないものを含む。）を含む。）（以下「研究科等の設置等」という。）による体制強化の計画であること。なお、コース等の設置・増員による体制強化の場合は、学則において、コース等の募集人員数を明記する計画であること。					
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる	☒ チェック			
計画通りに進んでいる	☒ チェック					
⑦	社会において具体的な人材ニーズが現に存在する、又は、その十分な見通しのある分野に係る研究科等の設置等の取組であること。					
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる	☒ チェック			
計画通りに進んでいる	☒ チェック					
⑧	教育の実績を有する既設の情報系分野に係る研究科、専攻（授与する学位が、学位種類分野変更基準に定める理学関係、工学関係又は農学関係のいずれかを学位の分野として含むものに限る。）を有する大学において、高度情報専門人材を育成する計画であること。（大学（特例枠）については、既設の情報系分野に係る学部、学科（授与する学位が、学位種類分野変更基準に定める理学関係、工学関係又は農学関係のいずれかを学位の分野として含むものに限る。）を有する大学とする。）					
	<table><tr><td>既設の情報系分野に係る研究科等を有する</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	既設の情報系分野に係る研究科等を有する	☒ チェック			
既設の情報系分野に係る研究科等を有する	☒ チェック					
⑨	機構による事業計画の選定があった日から2年を経過する日を含む年度の末日までに、計画の対象となる研究科等の設置等を行う計画であること。					
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる	☒ チェック			
計画通りに進んでいる	☒ チェック					
⑩	計画の対象となる研究科等の設置等において、大学院修士課程（博士前期課程を含む。）15名以上又は大学院博士課程（博士後期課程を含む。）5名以上の入学定員の増員を行う計画であること。					
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる	☒ チェック			
計画通りに進んでいる	☒ チェック					
⑪	国立大学について、大学全体の収容定員の増員を伴う学部定員の増員を行う場合は、国立大学法人の第5期中期目標期間終了時までに他学部・他学科を中心に同規模の定員減を行う計画であること。					
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる、又は対象に該当しない</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる、又は対象に該当しない	☒ チェック			
計画通りに進んでいる、又は対象に該当しない	☒ チェック					
⑫	教員の確保・配置状況等を踏まえた実現可能性の高い計画になっていること。					
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる	☒ チェック			
計画通りに進んでいる	☒ チェック					
⑬	文部科学省が実施する数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度における「応用基礎レベル」について、大学又は計画の対象となる学部若しくは計画の対象となる研究科に関連する主な学部が認定を受けている、又は認定を受ける計画があること。なお、学部を置かない大学で、本認定制度の対象に該当しないものについては、本要件は適用されない。					
	<table><tr></tr></table>					

フォローアップ対象年度	令和6年度	大学名	公立諏訪東京理科大学
-------------	-------	-----	------------

4. 審査要項における確認項目の計画及び取組状況

令和6年度 の取組実績及び申請時の計画を記載してください。取組実績は会社名や大学名、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。検討中であっても状況を記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

- ① 地域において自治体や企業等と連携した取組を行う計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
地元企業等からの要望に基づいた研究開発課題の解決、最先端の研究開発を通してのシーズ発掘及びそれらに基づく人材育成を通して、地域の発展への貢献や本学の教育研究水準向上に寄与することを目的に、平成30年度より産学連携センターおよび地域連携研究開発機構を設置している。産学連携センターでは、地域の実務経験者3人を擁し地域課題と大学シーズとのマッチングにより、開設依頼52件の共同研究等の成果があり、社会に直結した教育研究の実現に大いに貢献している。さらに、学部段階において2年生のPBL(Project Based Learning)形式で学習する必修科目「地域連携課題演習」において、自治体や地域企業等からプロジェクト課題の提供や活動の助言をしてもらうなど、積極的に連携している。研究開発にとどまらない地方自治体、産業界、特定非営利活動法人(NPO)等からの要望や地域課題解決の窓口として地域連携総合センターを設置し、広く地域とつながりをもち密接な関係性を結ぶための門戸を広げ、学生の自主的・実践的な活動を支援している。一例として、DX推進により課題解決しようとしている中小企業等と学生がプロジェクトチームを結成し、大学から場所・費用補助・助言指導などの支援をするDX推進プロジェクトなどを実施している。その他、地元自治体や企業の課題等を地域連携科目として授業科目内に組み込み、地域とともに学び課題解決ができる人材を育成している。授業だけでなく、学生が自ら考え積極的に行動する場を整えることで、主体性の確立した人材の育成につなげている。さらに、深層学習や大規模言語モデルの構築などの複雑な処理ができるGPUサーバの導入により地元企業等との研究連携を推進する。	産学連携センターでは、コーディネーターを中心に、企業から寄せられた相談や課題に関してヒアリングを実施した上で教員とのマッチングを行い、受託研究、共同研究、技術指導等の契約につなげた。 地域連携研究開発機構においては、8月に研究成果報告会を開催し、地域企業や自治体に対し、研究部門ごとに、これまでの研究成果を発表した。報告会では地元関係者を招いてパネルディスカッションを実施し地域課題に対する意見交換を行った。 また、2年生の必修科目である「地域連携課題演習」では、学生が複数のチームに分かれ、地元の製造業、リゾートホテル運営会社、病院、自治体等から提示された課題についてヒアリングを行い、チームごとに課題解決に向けた議論を行ったうえで、その成果を発表した。 さらに地域連携総合センターでは、地域から寄せられる多様な相談に対応し、それらの活動を学生に紹介している。特に、4年目を迎えた「DX推進プロジェクト」においては、諏訪地域の協力企業5社を学生が訪問し、DXに関する課題を聴取、その後、学内で学んだ技術や知識を活用し、課題解決に向けた提案を行い、優秀チームを選出した。 これらの活動により、地元企業と学生の交流を図るとともに、学生に地域企業の課題を理解してもらうことができた。	

- ② 初等中等教育段階の学校との連携に関する取組を行う計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
高大連携センターを中心に、長野県内を始めとする高等学校と連携して、高等学校教育と大学教育との円滑な接続と移行ができる取組を行い、地域で必要とされる人材を育成している。特に、高校生の工学への興味・関心・意欲を高めるための活動を実施して、高校生に大学で学ぶ意欲を向上させたいことを目指し、高等学校への出前授業、オープンキャンパス、連携授業、連携研究、高校生の大学でのインターンシップ、長期休暇期間等を利用した高校生向けのサイエンスプログラム等の取組を推進している。また、小学生と中学生向けに、理系に興味を持つことを目的としたイベントとして、小学生5、6年生を対象に親子で科学実験やものづくりの体験学習などを楽しみながらサイエンスに興味を持たせる企画は令和5年で19回目の開催となった。さらに、中学生向けのサイエンスラボを令和5年度よりスタートした。今年度は、初めての開催であったが、小学生向けイベントに参加したことのある中学生が参加するなど、大学としての理系に興味を持たせる目的は一定程度果たされていると推測できる。このほかにも近隣自治体の教育委員会と連携し、小学校及び中学校におけるプログラミング教育を実施している。小学生向けには、マイクロコンピュータ「マイロボット」を簡易プログラミング言語「スクラッチ」で操作することを通して、プログラミングの楽しさやその働き、有用性を感じとれる授業を、中学生向けには相手を意識したプログラミング学習として、「社会の誰かのために」という立場で、衝突しないロボットカーを制御するプログラミングの授業を展開している。いずれも、講習会後のアンケート結果より、理系だけでなく情報技術者への興味を持つ一助になっている。	高大連携センターにおいては、次のような取組を実施し、高校生の大学での学びに対する意欲の向上を図った。 ・春休みに高校生向けサイエンスプログラムを実施し、オープンキャンパス等の模擬授業では体験できない、実験実習等の授業を行った。同イベントには長野県内のみならず県外からの参加もあった。 ・工業高校を中心に、課題研究および探究学習への本学の教員や学生が指導を行う等の協力を行った。また、本学と高大連携活動を行う高校が一堂に会し、研究成果を発表する場を設けることで、高校生同士の交流を促進した。 ・そのほか、オープンキャンパスの実施に加え、高校からの依頼に基づく大学見学会を実施した。 また、生涯学習センターにおいては、従来から実施している小学生向けのサイエンスイベントに加え、令和5年度からは中学生向けのサイエンスイベントを開始しているが、令和6年度は、小学生と中学生のイベントを同時開催し、両者が一緒に脳科学に関する講演会を受講するなど、世代を超えた学びの共有を図る工夫を行った。 また、小学校のクラブ活動において学生がプログラミング指導を行うとともに、本学において「ロボット創造教室」を実施し、提示された課題に対してプログラミングを活用して解決する実践的な授業を行った。	

大学名	公立諏訪東京理科大学	改組内容	研究科等の設置・増員（一般枠）
-----	------------	------	-----------------

1－2.修士課程

<合計>

年度				R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度	R24年度
大区分		小区分	項目	単位																		
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	15	30	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数	人	32	45	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人	2	2	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人	1	1	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数	人	0	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
	その他の学期	入学定員	人	0	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数	人	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数	人	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
	入学者合計	入学定員(A)	人	15	30	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
		入学者数(B)	人	32	45	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
		女子学生数	人	2	2	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
		社会人学生数	人	1	1	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
		留学生数	人	0	0	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
	収容定員等	入学定員充足率 (B/A)	倍	2.13	1.50	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
		収容定員(C)	人	30	45	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		在籍者数(D)	人	63																		

大学名	公立諏訪東京理科大学	改組内容	研究科等の設置・増員（一般枠）	本事業対象となる研究科等の個数	1
-----	------------	------	-----------------	-----------------	---

1 .本事業対象となる情報系組織の状況

1－2 .修士課程

<内訳>

(1)	改組組織名	工学・マネジメント研究科 工学・マネジメント専攻
-----	-------	--------------------------

年度				R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度	R24年度
改組状況				選定・届出																		
大区分	小区分	項目	単位																			
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	15	30																	
		入学者数	人	32	45																	
		女子学生数	人	2	2																	
		社会人学生数	人	1	1																	
		留学生数	人	0	0																	
	その他の学期	入学定員	人	0	0																	
		入学者数	人	0																		
		女子学生数	人	0																		
		社会人学生数	人	0																		
		留学生数	人	0																		
	入学者合計	入学定員(A)	人	15	30	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数(B)	人	32	45	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人	2	2	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人	1	1	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数	人	0	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率 (B/A)	倍	2.13	1.50	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
	収容定員等	収容定員(C)	人	30	45																	
		在籍者数(D)	人	63	77																	
		収容定員充足率 (D/C)	倍	2.10	1.71																	

大学名	公立諏訪東京理科大学	改組内容	研究科等の設置・増員（一般枠）
-----	------------	------	-----------------

2－2.修士課程

年度				R6年度 選定	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度	R24年度
大区分	小区分	項目	単位																			
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	15	30																	
		入学者数	人	32	45																	
		女子学生数	人	2	2																	
		社会人学生数	人	1	1																	
		留学生数	人	0	0																	
	その他の学期	入学定員	人	0	0																	
		入学者数	人	0																		
		女子学生数	人	0																		
		社会人学生数	人	0																		
		留学生数	人	0																		
	入学者合計	入学定員(A)	人	15	30	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数(B)	人	32	45	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人	2	2	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人	1	1	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数	人	0	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	2.13	1.50	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
	収容定員等	収容定員(C)	人	30	45																	
		在籍者数(D)	人	63	77																	
		収容定員充足率（D/C）	倍	2.10	1.71	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
卒業後の状況	卒業者数等	卒業者数	人	30	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
		就職者数	人	27																		

大学名	公立諏訪東京理科大学	改組内容	研究科等の設置・増員（一般枠）
-----	------------	------	-----------------

4.外部資金の状況（全学）

年度		R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度	R24年度
項目	単位																			
外部資金獲得額	千円	204,900																		

特記事項

○工学・マネジメント研究科 工学・マネジメント専攻 修士課程及び博士課程のR6年度及びR7年度のその他学期の入学定員0人とは、若干名を意味しています。
○工学部情報応用工学科及び大学全体のR6年度及びR7年度の編入学定員0人とは、若干名を意味しています。